

経済・福祉・地域を元気に！

札幌市議会議員

けんゆう

すずき健雄



安心して暮らせる
ぬくもりのまち



札幌市議会では今、総額8848億円というかつてない規模の予算をめぐって審議がなされています。足腰の強い経済を目指すアベノミクスのもとで企業収益を改善し、実感はまだ薄いながらも、雇用や個人消費もゆるやかに回復の兆しを見せていると言われます。

国の積極的経済対策の効果を背景とし、前政権で半減していた社会基盤整備費も大幅に増額され、平成26

年度予算はかつてない積極的財政となりました。政権交代以来、私が入力してきたのは、**地域の生活道路や公園の改良工事**などです。都心こそ国際都市としての華やかな顔を持つ札幌ですが、周辺地域には整備・改善がまだまだ必要な部分が多くあります。社会基盤整備予算の取れる今こそが、その部分に目を向けるチャンスでもあります。

同じ札幌市民であっても、住む地域によって交通網やショッピングの利便性に格差があり不公平という声を耳にします。観光客の目を引くために都心や観光スポットばかりをゴージャ

スに飾りたてる前に、一定の行政サービスがすべての市民に行き届いているかを考えることが重要です。

私の長年のライフワークでもあり、東区の地域中心核ともいえる**栄町バスターミナルは平成26年度内着工の予定であり、苗穂駅周辺のまちづくりも平成30年を目指し駅舎移転・橋上化の予定**です。また、**東雁来第2土地区画整理事業**は未利用地だった12・8ヘクタールをものづくり関連事業の誘致適地として用途変更し、今年秋から段階的分譲の予定です。

さらに、**待機児童対策や高齢者福祉施設の新設**にも力を入れてまいりました。

今こそ、国の好循環実現の

ための経済対策を積極的に活用して、札幌の将来を見据えた産業の育成や社会資本の整備に取り組み、市民がいきいきと活動できる札幌を目指していかなくてはなりません。同時に、住む人が安全安心に医療を受け、子どもを育て、豊かな老後を迎えるための福祉が充実してはじめて、札幌が国際都市として真に胸を張ることができると確信しています。

東区に生活する人すべてが**「ここに住んでいてよかった」**と思えるような、活力と潤いや温もりのあるまちづくりを目指してまいります。

札幌市議会議員 鈴木健雄 政務調査だより

札幌市議会議員 鈴木健雄 政務調査だより

鈴木 健雄(すずきけんゆう)の経歴

【議会・党の経歴】
○財政市民委員会委員○経済雇用対策・新幹線等調査特別委員会委員○自民党札幌会連代執行○自民党札幌市議会議員○自民党札幌市議会議員会会長・幹事長・日韓友好議連盟会長・芸術文化議員連盟幹事長・建設委員長・第一部決算特別委員長・札幌市、石狩地方議員連絡協議会会長・自民党政令都市議員連盟副会長・自民党札幌総務会長、市民運動本部長

【主な公職】
○札幌地方ラジオ体操連盟会長○札幌カーリング協会顧問○札幌調理師団体連合会会長代行○市議会更生保護事業を支援する協議会会長(保護司)○国際パークゴルフ協会札幌支部支援員○東区少年軟式野球連盟顧問○市議会保育関係議員連盟所属議員○美音保公園ラジオ体操会会長・市立明園小学校PTA会長 連続5期当選

○現職です

平成26年度 主な事業予算

子育て

○5歳児健康相談事業【新規】

3歳児健診と就学前健診の間に新たに健診と発達相談の機会を設け、子どもの発育・発達の確認や児童虐待の早期発見につなげる

○私立保育所整備費等補助

私立保育所の新築や増設などを行い、保育所定員を1180人増やし、保育サービスの充実と待機児童ゼロをめざす

教育

○札幌市立中高一貫教育の 新たな学習モデル研究事業

15年度に開校する市立札幌南中等教育学校(東区)で、国際的な大学入学資格である国際バカロレア(IB)カリキュラムを導入するほか、情報通信機器を利用できる教育環境を整備

○仮称・南部高等支援学校基本計画【新規】

知的障害者が通う高等支援学校3校が市北部に偏在しており、市南部に2017年度に新たに1校増設

防災・安全

○空き家対策事業【新規】

倒壊のおそれがある危険な空き家を調査するほか、空き家情報を管理するシステムを開発

福祉

○元気デザイン向上事業【新規】

障害者施設とデザインを専攻する学生らが協働して、新しいデザインの商品を開発し、製品の販売を促進

○重症心身障がい児者の 地域生活支援事業【新規】

重症心身障害児・障害者の家族に代わり介護を行う「レスパイトケアサービス」を充実するため、ショートステイ事業所に人工呼吸器や介護ベッドなどの購入費を補助

産業

○中小企業金融対策資金貸付

経営力強化支援基金の融資条件を緩やかにする。利率は1.5%から1.3%に、限度額5000万円から1億円に

○国際観光有望市場誘致強化事業

タイ、インドネシアに焦点をあて、現地旅行会社と連携してキャンペーンを行う

○道産有望食品ブランド化事業【新規】

道産食品のブランド化を図るフード特区関連

環境

○省エネ型冷蔵庫買替 キャンペーン事業【新規】

節電効果の高い冷蔵庫に買い替える世帯に、5000円分の地域商品券を交付

○再生可能エネルギー 蓄電システム事業【新規】

幌北、西岡、北野まちづくりセンターに太陽光発電と蓄電設備を組み合わせた電力システムを導入

一般会計予算の概要 総額8,848億円

- 一般会計の平成26年度予算額は、対前年度+324億円(3.8%)、市政史上最大
- 平成26年度予算は、25年度予算と同様に、前年度補正予算(同年1定補正)における地域経済対策と一体的に編成
- 1定補正を含む実質的な比較では、一般会計で3.3%の増

